



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月2日

上場会社名 株式会社 立花エレクトック

コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 住谷正志

TEL 06-6539-2718

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,586	8.2	442	0.8	668	10.7	448	47.1
23年3月期第1四半期	25,493	38.5	439	—	603	—	305	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 321百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	21.59	—
23年3月期第1四半期	14.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第1四半期	70,121		35,339		50.3
23年3月期	74,393		35,269		47.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 35,275百万円 23年3月期 35,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	8.9	1,200	△11.9	1,530	△6.9	950	22.0	45.72
通期	125,000	5.0	2,800	△5.3	3,430	△3.2	2,150	2.9	103.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	21,381,102 株	23年3月期	21,381,102 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	601,543 株	23年3月期	601,576 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	20,779,520 株	23年3月期1Q	20,780,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は、東日本大震災の影響に加えて原発事故による電力供給問題や更なる円高の進行などの不安要因があったものの、グループ一丸となった技術商社として市場のニーズへの対応により、概ね堅調に推移いたしました。

その結果、第1四半期連結累計期間の業績は、売上高275億86百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益4億42百万円(前年同期比0.8%増)、経常利益6億68百万円(前年同期比10.7%増)、四半期純利益4億48百万円(前年同期比47.1%増)の増収増益となりました。

報告セグメント別については以下の通りであります。

[F Aシステム事業]

売上高:135億30百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益:3億82百万円(前年同期比53.6%増)

F Aシステム事業分野は、海外案件を中心に半導体や液晶製造装置メーカーの受注に支えられ、インバータ、プログラマブルコントローラ、低圧配電制御機器などの主力製品が堅調に推移いたしました。

[半導体デバイス事業]

売上高:104億68百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益:2億63百万円(前年同期比27.1%減)

半導体デバイス事業分野は、自動車関連機器用のマイコンが減少しましたが、エアコン用パワー素子は好調に推移いたしました。

[情報通信事業]

売上高:8億70百万円(前年同期比8.3%減)、営業損失:68百万円

情報通信事業分野は、タッチパネルが堅調に推移しましたが、ITの投資意欲が少なくパソコン及びコンピュータ周辺機器が低調に推移いたしました。

[施設事業]

売上高:19億14百万円(前年同期比4.0%減)、営業損失:72百万円

施設事業分野は、東日本大震災の影響から調達に苦戦を強いられルームエアコン及びエコキュート(電気温水器)が低調に推移いたしました。

[ソリューション事業]

売上高:97百万円(前年同期比37.8%減)、営業損失:1億3百万円

ソリューション事業分野は、設備投資の伸び悩みに加えて住宅用太陽光発電の一服感から前年同期に比して減少いたしました。

[貿易]

売上高:7億5百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益:41百万円(前年同期比542.8%増)

貿易の分野は、利益貢献の高い立体駐車場部材が好調に推移したものの、電子部品メーカー向けのチップコンデンサー用ニッケルペーストが低調に推移いたしました。

(注) 報告セグメントのうち「貿易」につきましては、前第1四半期連結累計期間においては「海外事業」の名称で表示しておりました。

海外売上高については次の通りであります。

売上高:38億29百万円(前年同期比38.6%増)

海外売上高は、日系メーカーを中心にマイコンや専用ICなどの半導体及びEMS製品が好調に推移いたしました。

なお、海外売上高比率は13.9%であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、701億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億72百万円減少いたしました。

流動資産は580億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億6百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少17億8百万円と受取手形及び売掛金の減少33億45百万円、たな卸資産の増加15億39百万円によるものです。

固定資産は121億20百万円となり前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。この主な要因は、有形固定資産の減少44百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、347億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億43百万円減少いたしました。

流動負債は311億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億42百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少25億5百万円、未払法人税等の減少9億79百万円によるものです。

固定負債は36億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億円減少いたしました。この主な要因は負ののれんの減少1億26百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、353億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加1億99百万円とその他有価証券評価差額金の減少1億61百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しにつきましては、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,129	11,420
受取手形及び売掛金	37,695	34,349
有価証券	810	962
たな卸資産	8,158	9,698
その他	2,477	1,632
貸倒引当金	△64	△62
流動資産合計	62,207	58,001
固定資産		
有形固定資産	3,778	3,733
無形固定資産	350	326
投資その他の資産		
投資有価証券	6,997	7,009
その他	1,148	1,121
貸倒引当金	△88	△71
投資その他の資産合計	8,057	8,059
固定資産合計	12,186	12,120
資産合計	74,393	70,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,896	26,390
短期借入金	2,398	2,305
未払法人税等	1,251	272
賞与引当金	834	364
その他	1,906	1,812
流動負債合計	35,287	31,145
固定負債		
長期借入金	771	786
退職給付引当金	678	682
負ののれん	1,884	1,757
その他	502	409
固定負債合計	3,836	3,635
負債合計	39,124	34,781

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,692	5,692
資本剰余金	5,571	5,571
利益剰余金	24,048	24,248
自己株式	△495	△495
株主資本合計	34,816	35,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	682
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△456	△422
その他の包括利益累計額合計	388	260
少数株主持分	64	64
純資産合計	35,269	35,339
負債純資産合計	74,393	70,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	25,493	27,586
売上原価	22,087	24,112
売上総利益	3,405	3,473
販売費及び一般管理費	2,966	3,030
営業利益	439	442
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	51	65
負ののれん償却額	126	126
為替差益	—	18
その他	49	73
営業外収益合計	232	291
営業外費用		
支払利息	10	10
売上割引	38	41
為替差損	7	—
その他	11	14
営業外費用合計	67	66
経常利益	603	668
特別利益		
貸倒引当金戻入額	33	—
負ののれん発生益	64	—
特別利益合計	97	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	213	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
減損損失	—	3
特別損失合計	221	7
税金等調整前四半期純利益	479	661
法人税等	174	211
少数株主損益調整前四半期純利益	305	449
少数株主利益	0	1
四半期純利益	305	448

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	305	449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	△161
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	14	33
その他の包括利益合計	△390	△128
四半期包括利益	△84	321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82	319
少数株主に係る四半期包括利益	△2	1

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	FAシステム事業	半導体デバイス事業	情報通信事業	施設事業	ソリューション事業	海外事業			
売上高									
外部顧客への売上高	12,019	9,631	949	1,994	156	741	25,493	—	25,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,019	9,631	949	1,994	156	741	25,493	—	25,493
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	248	362	△89	△2	△86	6	439	—	439

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	FAシステム事業	半導体デバイス事業	情報通信事業	施設事業	ソリューション事業	貿易			
売上高									
外部顧客への売上高	13,530	10,468	870	1,914	97	705	27,586	—	27,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,530	10,468	870	1,914	97	705	27,586	—	27,586
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	382	263	△68	△72	△103	41	442	—	442

（注）報告セグメントのうち「貿易」につきましては、前第1四半期連結累計期間においては「海外事業」の名称で表示しておりました。

<参考情報>

ご参考までに、地域ごとの売上高は、以下の通りであります。

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
22,729	2,742	21	25,493

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

日本	アジア	その他	合計
23,756	3,818	11	27,586

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。